



笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

コミュニティ・スクール

今年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）が座間市内全ての小中学校で位置づけられたことは、以前の校長通信でもお知らせしました。HPに資料を掲載していますが、コミュニティ・スクールについての文部科学省のおさえを再度お知らせします。

・・・・・・・・・・・・・・・・

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」への転換を図るための有効な仕組みであり、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができるものである。また、学校・保護者・地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める法律（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5）に基づいた仕組みである。

・・・・・・・・・・・・・・・・

今年度、コミュニティ・スクールを推進していくために、年間5回の学校運営協議会を予定し、5月・6月・9月・10月と4回の会議が開催されました。会長を中心に会議が行われ、子供たちの成長のために学校と地域が協働していく動きが形となりはじめました。話し合いを積み重ねながら、第4回の会議の中で決定した事項として、3点お知らせしたいと思います。

① 2年生…タペストリー作り

・座間市の商店街の街路灯に2年生が作成したタペストリーを飾る。

② 3年生…消防署・消防団の方々からの学び

・消防署や消防団の方に来校していただき、それぞれの仕事や役割についてお話を伺う。また、消防車や防火服等の見学もさせていただきます。

③ 6年生…ビブリオバトルの見学予定。

・内容の詳細等は今後検討。

それぞれの活動を通して、学校教育目標「笑顔いっぱい かがやく入谷っ子」の実現に向けて、子供たちに大切な力が育成されると考えています。2年生のタペストリー作りは、自分の描いた作品が商店街に飾られることで、地域の中で自分の存在を感じることができ、郷土愛の育成に繋がっていくと考えます。3年生の消防署や消防団の方々からの学びは、地域の安全を守る仕組みや働きの理解とともに、自分たちの安全を見守る地域の方々の思いに触れていく中で、多くの温かな存在や支えに気づき、地域を見つめる視点が広がるきっかけとなるのではないかと考えます。また、繋がりの中で感謝する気持ちも芽生えるのではないかと考えます。6年生のビブリオバトルの活動は、読書の楽しさの再確認に繋がるとともに、新たな本に興味をもつきっかけとなり、読書推進の力になるのではないかと考えます。

決定した上記の内容以外にも、挨拶の推進や下校の見守り等、引き続き検討していく事項も共有されています。

学校運営協議会を通して、地域の中には豊かな人的・物的資源が多様にあることを改めて感じています。今後も会長を中心に、委員の皆様と協働して、子供たちの成長を支えていきたいと思いをします。

***HPに、会議録等を掲載していますので御覧いただければ幸いです。**